



浄土の庭 知恩院 友禅苑（上と左下）方丈庭園（右下）

知恩院主催 法然上人 800 年大遠忌記念コンサート  
と法然上人 25 霊場誕生寺（岡山）参拝の旅

参加者募集のお知らせ

期 日 平成 23 年 6 月 4 日（土）～ 6 日（月）  
募集人員 45 名（定員になり次第締め切ります。）  
行き先 京都コンサートホール、知恩院、長岡光明寺、箕面勝尾寺  
播磨浄土寺、岡山誕生寺  
詳しいことは 無量寺までお尋ね下さい。

檀信徒各位

## 春季彼岸法要のご案内

聖名 長期予報では暖冬といわれながら、今年の冬は厳しい寒さとなりました。ようやく春らしい陽気となってまいりました。

さて、例年3月の「春季彼岸法要」を迎えることになりました。

ご多忙の折柄、恐縮乍ら、何卒万障お繰り合わせご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。 合 掌

平成23年3月上浣

無量寺 住職 堤 俊翁 拜

### 記

※期 日 3月21日(月) 春分の日

※時 間 午後1時より音楽法要、ご回向  
午後2時より法話

※布教師 住職 堤 俊翁



※ご回向料

普通回向 1霊 1,000円以上

※お供え米、お供え米料 随意ご志納下さい。

毎日の本尊様のお供え、お花代等にさせていただきます。

※郵便振替等で申し込まれる方も位牌型をお送り下さい。

※こうりん第66号はホームページでもご覧下さい。

[http://muryoji.net/ikou/pdf/kourin\\_66.pdf](http://muryoji.net/ikou/pdf/kourin_66.pdf)

## 釈尊の生涯

### 最初の説法（初転法輪）

釈尊はまずこの法を説くべきかについて思いをめぐらしたところ、かつてラージャグリハで教えをうけた二人の師が脳裏に浮かんだ。しかし、その二人の師ともすでにこの世の人ではなかったため、次に苦行林で行動をともにしたカウンディニヤ等、五人の旧友のことが思いだされたので、釈尊はさとりへの地、ブツダガヤーをあとにしてバーラーナシーのムリガダーヴァへと歩みを進めた。

だ座席だけは設けてやらなければなるまい」と申しあわせた。しかし釈尊が次第に近づくと彼らは座からたちあがって釈尊を迎え、ひとりには衣鉢をうけとり、ひとりには座を設け、今ひとりには足を洗う水と台と布をもつてきた。

時に釈尊は「友よ」、「ゴードアマ」と呼びかける彼に向かつて、「さとりをひらいて仏陀となった私を、そのように呼んではならない」とすでに出家の本懐をとげたことを告げられた。

しかし彼らは釈尊のことをばを容易に信じないで、かえって非難をくりかえした。

釈尊はもはや弁解は無用とばかりに、「汝たちよ、今より以前に、私の顔がこのようにひかり輝いているのを見たことがあるか」と問いかけた。これにたいして彼らは異口同音に、「そのような光輝をはなっているのに接したことはない」と答え、自分たちが約束をや

ぶつて釈尊を迎えたのも、釈尊の内からあふれでる人格のひかりにうたれてのことであるのに気づき、理屈ぬきに釈尊の説法に耳をかたむけた。釈尊の説法は彼らが固執していた見当違いを一瞬にしてうちやぶった比類のない人格のひかりをとおして行われたので、彼らはたちどころに邪見や妄執をうちくだかれ、法の真実にふれることができた。

釈尊の説法はあたかも車輪が瓦礫をうちくだいて前進するのに似ているところから、釈尊の説法のことを「転法輪」と呼ぶようになった。このムリガダーヴァ（鹿野苑）における五人の旧友に対しての説法は、釈尊が仏陀となられて初めての説法であるので、世にこれを「初転法輪」といっている。

この度は、ご精進が実り院号を受けられましたこと、本当におめでとうございます。

五重相伝を受けられ、その後法要のたびに熱心に修養に励まれました。名前は態を成すといいますが、名前を新たに受けられるということは、人生の大きな節目を迎えたということでしょう。信仰に目覚め、新たなご自分自身との出会いを通して、生きていくことの意味を確かめていただけるものと思います。み仏の慈悲のみ光に包まれていく生活を生ききってこそ、この世に生まれてよかったと思えるのではないのでしょうか？



了月院 啓 彦光殿 惠月院 啓 靖子殿



聖観音菩薩像 山門側よりの建立予想図



筑後三十三観音霊場 十八番札所

現在は納骨堂内に仮安置

聖観世音菩薩 建立予想図 ご本尊は台座の中に納めます。



以前の観音堂



現在は永代供養塔

### 14日会 (念仏と写経の会)

- 1、日 時 毎月第3土曜日  
午後3時より  
勤行とお念仏  
引き続き 写経会  
※お勤めだけ、または写経会  
のみのご参加も歓迎します。
- 2、場 所 無量寺 2階 本堂にて
- 3、参加費 無 料
- 4、納経料 1巻 1,000円  
(納経料は観音様建立の資金とします。)  
また、納経は観音様の台座に納めます。

# 佛教なんもかんも

## お経の魅力

**Q** お経や念佛の意味はともかく、和尚さまが称えられると不思議な魅力を感じます。吟るよな詠うようなその単調な韻律は心をもみほぐし、やさしい気持ちにさせられるのです。法事の席は私の癒しの時です。それでよろしいのでしょうか？

**A** 現代の教育を受けたお方にしては、とても重要なところに気づかれたことを喜ばしく思います。理性や知性で佛教を知ること大切ですが、理論や理屈を超えた不可思議を感得する感性を磨くことはもっと大切なことです。人は限られた我範囲、少ない経験で物事を理解しようとし

ます。狭い見は独善に陥りやすいのです。昔の人は言葉に霊力（不思議な力）があると信じていました。それを言霊（ことだま）として、ひとたび発した言葉は、人の心に作用し、世の中をも動かす霊の存在を認めていました。言葉のもつ力を直感として認知していました。

れる・切れる」はご法度。受験生の前では「すべる・落ちる」は禁句です。この忌み言葉は、言葉に力があると理解しなければ解決できない現象です。

お経も念佛も「知った」「わかった」という理解よりも「こころ」で「ありがたい」と受けとめる方が先のようなです。言葉は生きていて、意識の奥に潜んでいます。お経や念佛に人を感動させる不思議な魅力を見出し、私達日本人の先祖たちだったのです。

古い時代には医療手段として、疾病平癒、悪霊退散を祈りの言葉に託してきました。言葉に精神的作用ばかりか、現実の世に影響を与え、天地を動かし、鬼神をも感じせしめる霊力を信じて疑いませんでした。現代人は言葉にそれほどまでの神威をかんずることはありませんが、潜在意識の中に言葉のもつ霊力を感じているのではないのでしょうか。

今でも結婚式では「別

回答

正覚寺住 職  
行正 明弘師

## 東北編

### ～利休揚げ～

浄土宗～かるな～より

#### <材料>

- 豆腐・・・・・・・・2丁
- にんじん・・・・1本
- いんげん・・・・数本
- のり・・・・数枚
- 抹茶・・・・少々
- 食紅・・・・少々
- 片栗粉・・・・少々

## かぞくておいしい！ かるな流 精進料理



### 【作り方】

- 1 水分をよく切った豆腐と、a 抹茶、b 食紅、c みじん切りにした いんげんとにんじんを、それぞれ混ぜ合わせる。
- 2 abc をそれぞれのりにまんべんなく盛り、a はにんじん、b はいんげんを並べ、c はそのまま形をととのえながら巻いていく。
- 3 abc それぞれに片栗粉をよくまぶし、高温の油でカラッと揚げる。
- 4 食べやすい大きさに切り、甘酢あんをかける。

## 法然上人 800 回忌 特別展覧会 **法然** 生涯と美術

◎会 期：平成23年3月26日(土)~5月8日(日)

◎会 場：京都国立博物館

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

◎交通手段：JR 京都駅から市バス206・208号系統で

「博物館三十三間堂前」にて下車、徒歩すぐ

京阪電車「七条駅」下車、東へ徒歩7分

◎休館日：月曜日(ただし、5月2日は開館)

◎開館時間：午前9時30分~午後6時(金曜日は午後8時まで)

\* 最終入館は閉館の30分前まで

◎主催：京都国立博物館 NHK 京都放送局 NHK プラネット近畿 京都新聞社

◎特別協力：総本山知恩院、大本山増上寺、大本山金戒光明寺、大本山知恩寺、

大本山清浄華院、大本山善導寺、大本山光明寺(鎌倉市)、

大本山善光寺大本願、総本山光明寺(長岡京市)、総本山禅林寺

総本山誓願寺、総本山遊行寺(清浄光寺)

◎展覧会公式サイト <http://honen800.exh.jp/pc/>

携帯サイトはこちら <http://honen800.exh.jp/>



## 大本山 増上寺 法然上人 800 回忌記念 特別展

### 特別展 「五百羅漢—増上寺秘蔵の仏画幕末の絵師 狩野一信」展

会 期 平成23年3月15日(火)~5月29日(日)

会 場 東京都江戸博物館 東京都墨田区横綱1-4-1

主 催 公益法人東京都歴史文化財団、東京都江戸博物館、大本山増上寺、日本経済新聞社

### 同時開催 企画展「芝 増上寺~秀忠とお江の寺~」展

会 期 平成23年3月15日(火)~5月29日(日)

会 場 東京都江戸博物館

主 催 東京都、東京江戸博物館



メールアドレス登録

QRコード

(携帯電話等で読み取って下さい)

<http://muryoji.net/touroku>

(パソコンはこちらから)

メールアドレスを登録していただくと、  
こうりん電子版やお知らせを配信します。

こうりん66号はホームページでもご覧下さい。  
いろんなサイトへリンクを貼っておりますので、  
アクセスができます。

こうりん第66号 平成23年3月1日発行  
発行所 久留米市本町8-4 浄土宗 無量寺  
<http://muryoji.net>